

「木曾岬町のさらなる教育振興に向けて」

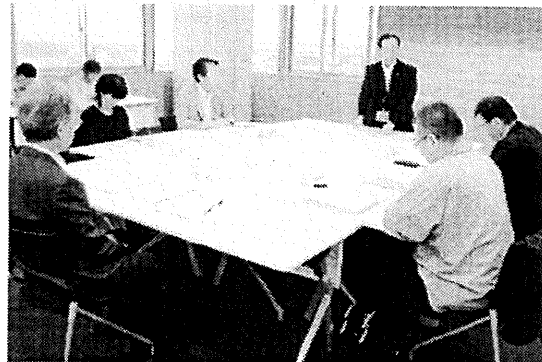
町長と教育委員会で意見交換

平成29年6月21日(水)に平成29年度第1回木曾岬町総合教育会議が開催されました。

今年で3年目を迎えた本会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、町長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り、木曾岬町における教育の課題及びめざす姿を共有しながら、連携して効果的に教育施策を推進していくための会議です。

今回の会議は、「『地域ともにある学校づくり』に向けて、地域の力を活用し、地域と協働して子どもの育ちを支えていく取組をさらに充実させていくためには」を協議テーマとして、さまざまな視点から“地域との協働”について、町長と意見を交わしました。

また、今回は総合教育会議要綱に基づき、幼稚園長、小・中学校長、また青少年育成町民会議の杉野会長にも参加を求めて、協議に関わる教育実践や地域における今後の取組構想についてご紹介いただきました。



協議ポイント

- 1 幼稚園・学校と地域が協働して子どもの育ちを支えていくという取組の意義について
- 2 「地域づくり」の観点から、コミュニティ・スクールを機能させていくためには、今後どのような取組を推進していけばよいかについて
- 3 多くの子どもたちに新図書館の活用を促すために、家庭や地域とどのように協力していけばよいかについて

これまで木曾岬町の幼稚園、小・中学校では、多くの保護者や地域の方の支援をいただきながら、教育活動の質を高めてきた経緯があります。会議の中では、このような木曾岬町の強みをさらに伸ばしていくために、教育委員会が推進する学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用して、町ぐるみで子どもの育ちを支える地域社会の形成を考えていくことが大切である等の意見が交わされました。

また、子どもたちの新図書館の活用促進につきましては、幼稚園や学校の教育活動との連携を積極的に進めていくとともに、家庭へも協力をいただきながら、読書の魅力を発信していくことが必要であることが共有されました。

最後に、青少年育成町民会議の杉野会長から地域との協働に関わって、「木曾岬子ども未来塾」構想の話があり、町長からは、「学力の定着」「英語教育の充実」に十分寄与する構想であり、子どもの育成に大きな可能性を感じるという評価がありました。

今回の会議で出された意見内容につきましては、今後町長部局と教育委員会において考え方の調整を図り、合意形成された事項については、具体的な教育施策として展開していくことが確認されました。